

経団連グローバル人材育成推進事業について

2023年4月1日

一般社団法人 日本経済団体連合会

II-1. 経団連の海外留学支援活動【概要】

資金支援

高校生向け

(1) United World Colleges (UWC) への派遣奨学事業



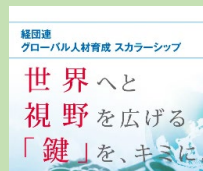
大学生・
大学院生向け

(2) (公財) 経団連国際教育交流財団による奨学金の支給

① 経団連グローバル人材育成スカラーシップ

〔経団連グローバル奨学金〕

(将来グローバルなビジネス領域で活躍する意志を持つ学生を対象)



② 日本人大学院生奨学金

(アカデミアでの活躍を志向する学生を対象)

※皇太子明仁親王奨学金 (注)

(日本とハワイの大学院生を相互派遣)

(注) 皇太子明仁親王 (現在の皇陛下) のご成婚とハワイご訪問を記念して、1960 (昭和35) 年、ハワイ在住の日系人やホノルル商工会議所、わが国経済界の協力により創設

Ⅱ-2. (公財)経団連国際教育交流財団が実施する各種奨学事業①

1. 経団連グローバル人材育成スカラーシップ〔経団連グローバル奨学金〕

(1)目的：将来、グローバルなビジネス領域で活躍する意志を持つ大学生、大学院生（修士課程）の留学（留学期間：8カ月以上1年未満（注））に際して支給する奨学金

（注）理工系専攻者は、留学期間6カ月以上1年未満の場合も応募可

奨学金原資の一部は、経団連主要会員企業からの寄付金（1社100万円/年）により運営

(2)実績：2012年開始、2022年度までに324名の奨学生を選抜。

奨学生は北米、欧州だけでなく、アジア、オセアニア等の大学等に幅広く留学
帰国後は多くの学生が日本企業に就職

留学先（オンライン留学を含む）	留学・大学卒業後の進路
北米123名（ハーバード大学、ジョージタウン大学、カリフォルニア大学、ブリティッシュ・コロンビア大学など） 欧州127名（ロンドン大学、エディンバラ大学、パリ政治学院、スイス連邦工科大学、ケルン大学、ボン大学など） アジア38名（復旦大学、上海交通大学、シンガポール国立大学、マヒドン大学など） オセアニア29名（オーストラリア国立大学、シドニー大学、オークランド大学など） その他7名	主な就職先（社名50音順）： アサヒビール、アステラス製薬、伊藤忠商事、大林組、花王、キヤノン、クボタ、清水建設、商船三井、住友化学、住友商事、双日、第一生命保険、ダイキン工業、大成建設、大和証券、デンソー、東京ガス、東レ、日本アイ・ビー・エム、日本通運、野村総合研究所、日立製作所、三井物産、三菱地所、三菱重工業、三菱商事、三菱UFJ銀行など

(3)支給金額・人数：200万円/人、最大20名（2020年度～）

(4)奨学生に対するフォローアップ：

- 課題共有会：留学前に奨学生OB・OGからアドバイスを受けるとともに、同期と意見交換し、留学に向けて意識を高める場
（2022年度はオンライン形式で開催、2023年度もオンライン開催の予定）
- SNS交流：留学準備・留学中の情報交換の場

Ⅱ-2. (公財)経団連国際教育交流財団が実施する各種奨学事業②

(5)2022年度奨学生について：2021年11月に奨学生20名を選抜。
2023年4月1日現在19名が留学（残る1名は2023年度の留学開始に向けて準備）。

(6)2023年度奨学生について：2022年11月に奨学生20名を選抜。

- ①男女別 男性8名 女性12名
- ②学校種別 大学院生2名（修士1年1名、修士2年1名）
学部生18名（2年5名、3年2名、4年10名、5年1名）
- ③文理別 文系9名 理系11名

(7) 募集対象校：

- ・「グローバル30」および「スーパーグローバル大学創成支援事業」対象校を中心に、グローバル人材育成に熱心な大学を対象としている。

【2024年度奨学生の募集対象校（66校）】

北海道大学、東北大学、筑波大学、埼玉大学、千葉大学、お茶の水女子大学、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京海洋大学、東京藝術大学、東京工業大学、東京大学、一橋大学、横浜国立大学、長岡技術科学大学、新潟大学、信州大学、静岡大学、名古屋大学、豊橋技術科学大学、金沢大学、京都工芸繊維大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、愛媛大学、九州大学、長崎大学、熊本大学、鹿児島大学、

宮城大学、国際教養大学、会津大学、東京都立大学、大阪公立大学、北九州市立大学、国際大学、青山学院大学、学習院大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、芝浦工業大学、上智大学、聖路加国際大学、創価大学、中央大学、東海大学、東洋大学、日本女子大学、法政大学、武蔵大学、明治大学、立教大学、早稲田大学、金沢工業大学、中京大学、京都産業大学、同志社大学、立命館大学、関西学院大学、神戸学院大学、福岡大学、立命館アジア太平洋大学

2. 日本人大学院生奨学金

- (1)目 的：将来、アカデミアの世界で研究者を目指す日本人大学院生の海外留学に際し支給する奨学金。
- (2)実 績：1976年開始、これまで約200名に支給
- (3)支給金額・人数：**350万円／年（最大2年間支給）、最大2名**
- (4)2022年度奨学生について：2021年11月に奨学生2名を選抜。2名とも留学を開始。
- (5)2023年度奨学生について：2022年11月に奨学生1名を選抜。
- (6)2024年度奨学生の募集対象校（25校）：
北海道大学、東北大学、筑波大学、千葉大学、お茶の水女子大学、東京大学、
東京外国語大学、東京藝術大学、東京工業大学、一橋大学、名古屋大学、京都大学、
大阪大学、神戸大学、九州大学
青山学院大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、上智大学、成蹊大学、津田塾大学、
東京理科大学、立教大学、早稲田大学、同志社大学

以 上

II-3. UWCへの高校生の派遣（留学支援）

1. UWC（United World Colleges、本部：ロンドン）とは

世界18の国・地域にある全寮制のカレッジ（高校）において、世界各国から選抜された高校生を2年間受け入れ、国際バカロレア（IB）課程に則った教育を通じて、国際感覚豊かな人材を養成することを目的とする国際的な民間教育機関。

経団連は、1972年より（公社）UWC日本協会事務局を務め、日本におけるUWC活動の窓口を担当。2022年6月より、同会長に小路経団連副会長が就任。

UWC日本協会は、会員企業（現在54社、年会費50万円～）からの寄付を原資として、奨学金を支給。これまでUWC各校に約700名の高校生を派遣。

2. 2023年度の派遣状況（予定）

- 派遣人数：15名
応募者91名から筆記試験、面接選考を経て選抜
- 派遣先：9校
イギリス、カナダ、イタリア、アメリカ、香港、ノルウェー、オランダ、ドイツ、日本

3. 卒業生の進路

- 国内大学のほか、ブラウン大学やイエール大学、MITなど、海外の有名大学に進学。 ※2011～2021年卒業生
- 日本の民間企業・政府・大学等に就職して活躍しているほか、国際機関職員や起業家、宇宙飛行士等としてグローバルに活動を展開



（2022年度派遣奨学生との記念撮影）